

伊達市立図書館システムの設置及び保守業務 プロポーザル評価基準

1 受託候補者の選考方法

受託候補者の選考については、提案要求事項に基づく提案内容から評価する提案評価点、提案価格から評価する価格点を指標として、以下に定める採点方法により算出された技術点、同じく定める採点方法により算出された価格点の合計点が最も高い者に決定する。ただし、次の条件を満たすことを前提とする。

前提条件

提案価格が「提案上限額」の範囲内であること

履行期間内で作業スケジュールが組まれていること

最高得点者が2者以上あった場合は、提案評価点が上位の者を受託候補者とする。さらに提案評価点と同点の場合は、見積書の金額が低い者を受託候補者とする。

提案評価点、価格点の配分

点数については、合計1,000点満点とし、得点配分については、次のとおりとする。

提案評価点	企画提案書、プレゼンテーション	900点
価格点	見積価格	100点
合計点		1,000点

2 提案評価点、価格点の採点方法について

企画提案書の評価は、プレゼンテーションを開催し、提出された提案書に基づき評価項目に沿って説明を受け、質疑応答を行って審査する。

なお、評価はあらかじめ設定した評価項目及び評価基準に基づいて実施する。

評価項目及び評価基準は「提案評価基準表」のとおりとする。

(1) 項目ごとに、5段階評価とする。評価点は下記のとおりとする。

	各項目の得点				
	特に優れている(満点)	優れている	普通	やや不十分	不十分
基準A	5	4	3	2	1
基準B	10	8	6	4	2
基準C	30	20	10	5	2

- (2) 各選定委員（5人）の合計点数（180点満点）を、合算することによって提案評価点を算出し、その事業者の評価点数とする。
- (3) 企画提案書は、次の【別表1】 提案評価基準表の評価項目の順序、内容に従い、作成することとし、全ての項目について漏れなく記載すること。
- (4) プレゼンテーションの際は、次の【別表1】 の評価項目に沿って説明をすること。

【別表1】 提案評価基準表

区分	評価項目	評価基準
基本的な考え方	提案業者の会社概要	事業者規模や経営状況、支社等の立地等、信用に足る説明がなされているか。
	提案業者の図書館システムの取り組み・導入実績	図書館業務の専門業務に長け、導入実績があり、運用経験が十分であると判断できるか。
システム構成・性能	ハードウェアに関連する提案内容	要件を満たし、利用状況等に対応可能な性能・耐性を有しているか。
	ネットワーク要件	要件を満たし、実行可能な提案内容となっているか。
業務システム	システムの特色や優位性	システムを構築運用することで、情報資産の安全管理措置や、当該業務の改善・効率化が図れるなどの具体的な提案があるか。
	システムの機能・特長	優れた機能やシステムの使いやすさに関する特長などがあるか。
	情報資産の管理	個人情報を含む情報資産の管理方法等があるか。
セキュリティシステム・障害対策	セキュリティ対策全般	個人情報保護に対する認識やその漏洩防止策、セキュリティ対策、品質管理体制は整っているか。
	情報資産の適切な取扱いを確保するための対策	権限の管理、アクセスログ等に対するセキュリティ対策の具体的な提案があるか。
	障害発生時の窓口等業務継続方法	システムがダウンした場合等の障害発生時の対応、復旧方法、復旧時間、業務継続方法、システム復旧後の対応、執務時間外や休日時の対応についての具体的な提案がされているか。
	データ保護対策	データ破損等発生時のバックアップ体制や復旧方法は適切か。

構築体制	構築の人員体制	管理体制、構成人数、担当者の経験・実績は適切か。
	構築作業計画等	業務フロー又は工程表等は妥当か。 また、休館日が短いなど、可能な限り通常業務に支障のない移行スケジュールとなっているか。
	教育研修	操作指導・研修について適切に対応できる体制となっているか。
現行システムからのデータ移行	現行システムからのデータ移行	移行に伴うデータの検証等について、手順や、職員の作業量の軽減、作業期間等の試算を含めた具体的な提案があるか。
新しい技術やサービスを取り入れた新機能	ICT 機器活用の促進とともに、新しい技術やサービスを取り入れた図書館の創造	SNS(主に LINE) ツール連携機能について、導入が可能か。 また可能な場合その内容は充実しているか。
		図書貸出カードのオンライン申請機能について、導入が可能か。
	その他独自の魅力的な提案	その他、導入が可能な実現性のある「市民の読書推進」「図書館の利用促進」「業務の効率化」「利用者サービスの向上」に寄与する、当図書館にとって有益な提案がなされているか。
保守運用体制	保守運用の人員体制	保守管理体制、構成人数、担当者の経験・実績は適切か。
	保守の内容	作業項目(機械保守内容、システム保守等について)が示されているか。
	災害対策など不測の事態に対する考え方	災害対策など不測の事態への対応が考慮されているか。また、その内容は現実的かつ有効的な内容か。
プレゼンテーション能力	プレゼンテーションの分かりやすさ	提案内容の明確な説明及び質疑に対する的確な回答ができているか。

3 提案評価点計算式

各選考委員が評価項目を評価する。各選考委員が行う評価は評価点の合計を算出する。加えて、その合計を合算することによって提案評価点を算出する。以上のことから、提案評価点は、以下の計算式によって算出する。

「提案評価点（900点）」＝選考委員一人当たりの各評価項目の評価点（180点満点）の合計

4 価格点の採点方法

提案価格の価格点は、各参加者の中で最低見積価格を提出したものを満点とし、他参加者の価格点は、次の計算式から算出する。

「価格点」＝基礎点 100 点×（各参加者のうちの最低見積価格÷参加者の見積価格）

※小数点以下を四捨五入

5 最低制限基準について

合計点数が配点（1,000点）の60%に満たない場合は、受託候補者としな
いものとし、再度公募を行うものとする。